

北九州市立児童発達支援センター 第1回指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和2年5月18日(月) 17:55～18:45
- 2 場 所 総合保健福祉センター アシスト6階 視聴覚室
- 3 出席者 (検討会構成員等) 門田構成員(座長)、久門構成員、
田村構成員、村上構成員
(事務局) 保健福祉局障害者支援課長、施設管理担当係長、
障害福祉施設係長

4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
- 構成員の互選により、座長を選出。
- 検討会の位置づけ及び検討会の進め方等について、事務局より説明。

(1) 条件付き公募方式採用の妥当性について

- 施設の管理運営に関する要求水準及び条件付き公募方式採用の理由等について事務局より説明。

<質疑なし>

- 構成員は各自条件付き公募方式採用の妥当性の有無を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換。

(構成員) 知的障害がある子の保護者の立場から、施設との信頼関係は特に大切だと思う。長年、施設を管理運営している職員の方達の専門性、個々に対応していく継続性は欠かせないと思う。各法人は長年運営に携わっており、「妥当である」と判断した。

(構成員) 福祉事業団は、重い障害がある子ども達を長年支援してきている。本施設は、専門性をもって継続的に支援していく必要があると思う。よって妥当と判断した。また、あゆみの会についても長く子ども達を支援しており、知識の集約があると思うので「妥当性有り」とした。

(構成員) 私立の幼稚園等では、年々、発達障害のある子どもの通園が増えている。ひまわり学園は、そのような幼稚園等からの相談に対し、専門的な助言及び指導をしており、保護者からの信頼も厚い。条件付き公募の視点についても、全て当てはまると考えるので、「妥当である」と判断した。

(構成員) 到津ひまわり学園、若松ひまわり学園、引野ひまわり学園については、

福祉事業団が長く支援を続けており、北方ひまわり学園についてもあゆみの会が長年支援している。どの施設も専門的な支援のあり方を確立しており、保護者からの信頼も高い。よって全ての施設について「妥当性有り」と判断した。

- 検討会の意見を受け、条件付き公募方式採用の妥当性の判断について、事務局より説明。

(事務局) 条件付き公募方式を採用することに「妥当性有り」との審査結果をいただいた。この結果を踏まえた上で、市として最終的な判断を行い、条件付き公募に必要な手続きを進めてまいりたい。

北九州市立児童発達支援センター 第2回指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和2年10月2日（金）17：10～19：20
- 2 場 所 総合保健福祉センター アシスト6階 視聴覚室
- 3 出席者 （検討会構成員等）門田構成員（座長）、久門構成員、
田村構成員、村上構成員
（事務局）保健福祉局障害者支援課長、施設管理担当係長、
施設管理担当職員

4 会議内容

（1）指定管理者候補の選定について

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局から説明
- 指定管理者候補の選定基準、適否選択の注意事項等について、事務局から説明
＜質疑なし＞

○ 申請団体から提案概要に関してヒアリング

①到津ひまわり学園、若松ひまわり学園、引野ひまわり学園

（構成員）ホームページ等でのPRについて説明があったが、病院や児童相談所からの紹介等はあるのか。

（申請団体）療育センターのにこにこ通園・きらきら通園からの入園の方が半数以上を占めている。また、短時間通園に所属する子どもで、幼稚園・保育所では適応が上手くいかないケースについて、引野ひまわり学園では今年度は5名、昨年度は7名、幼稚園・保育所から移行してきた。

（申請団体）昔は児童相談所が主にに関わり、入園は措置だったが、現在は契約の形態となっているため、以前よりはご家庭から直接申し出を受けることが増えている。

（構成員）PRをしっかりとしないと必要な情報が浸透しないと思っている。ホームページやチラシでPRしたり、幼稚園・保育所と連携していることを聞き感心した。

（申請団体）ご家庭だけでお困りになる方がいないように色々と工夫をしている。

（構成員）人件費が5カ年同額の提案がされている。新型コロナウイルスのこともあり、人件費が上昇するのではないかと懸念を抱いた。また、経験のある方に再雇用等なるべく安価な人件費で従事していただく等の工夫には納得したが、年齢が高い方であるので、配慮があればいいと感じた。

（申請団体）人件費に関してはベースアップ等の上昇分はあるが、現在定年を控える職員が在籍していることもあり、また、嘱託職員の雇用等、人件費が上がらないよう工夫をしていく。

他の法人と比較し勤続年数が長い職員が多く、経験等が豊富な職員が多いという利点を生かしながら、経営努力により人件費を抑え、サービスの質を維持できるよう努力していきたい。

- (構成員) 働き方改革の中でも、質の向上のために研修は欠かせないものだと思うが、例えば研修日が休日となった場合、代休の補償等どのようにしているのか。
- (申請団体) 代休で補償している。
- (構成員) 順番に休日を取れるようにしているのか。
- (申請団体) そのとおり。
- (構成員) サポートブックについては、作成にあたってかなり労力を要するが、小学校にその価値を理解してもらえていないことがあるようだ。幼稚園・保育所とはかなり連携していると思うが、小学校に対して、そうした周知を行うことや連携を図ることについては、今後どう考えているか。
- (申請団体) 進路については小学校の通常学級・支援学級、支援学校等様々あるが、学校の先生に就学前に見学に来て、直接園児の様子をいただき、園での支援が途切れないよう書面の引継ぎ書を学校に渡すようにしている。小学校の先生が郵送で構わないと仰ることもあるが、その場合も保護者が直接見ていただくことを希望していることを伝えると、ほとんどの方が見学に来てくれる。
また、サポート「ブック」だと厚くなり、お忙しい学校の先生が時間を掛けて見ていただくことが難しい場合もあるため、ひまわり学園ではサポートシートという少し見やすいタイプのものを準備している。
加えて、引野ひまわり学園の特色でMSPAについて触れたが、これは評定尺度で、学校、就職先に持って行くもの。これをいかにひまわり学園、幼稚園・保育所から次に繋げるかということについて市内関係各所と共同して検討している最中。
こうした取組みから、これから少しずつ状況が変化していくのではないかと思う。
- (構成員) 途中の欠員に伴う利用児の選定について、基準などはあるのか。
- (申請団体) ご事情を考慮し、早急に通園が必要だと判断される方を優先している。子どもの発達段階、行動上の問題、知的の発達、所属があるかどうかを総合的に考え、また家庭の状況も加え判断している。
- (構成員) 希望を申し出た順ではないということではどうか。
- (申請団体) そうした運用ではない。
- (構成員) 卒園後の進路は通常学級、特別支援学級、特別支援学校でどのような割合か。
- (申請団体) 引野ひまわり学園の例では、24～25名のうち、去年は支援学級、支援学校が約半数ずつ、2名が通常学級に進んだ。今年も支援学級が3名、通常学級が1名、20名程度が支援学校に進んだ。その年によって状況は異なる。

(構成員) ライフステージに沿った支援の継続性の観点からも幼児期の取り組みは大切に、次の就学へ適切に引き継がれることはとても重要であり、これは過去からずっと言われてきた課題でもあり、市内の体制も整っていくべきことでもある。その中で引継ぎにあたってのご苦労もあると察する。

園児の大半が支援学級、支援学校に進むのであれば、その就学先では個別の教育支援計画と個別の指導計画が立てられていくので、本来ならば引継ぎの中で就学後の話し合いが十分にできる環境にあるのかと思うのだが、実態としては難しいのか。

(申請団体) 支援学校の先生方は大変熱心に引継ぎを行ってくれる。

(構成員) 引継ぎに関する文章の中で、保護者の了解ないし希望という言葉があり、受け取り方の問題かもしれないが、保護者が希望しなければ引継ぎがストップしてしまうのか。

(申請団体) まれに通常学級に進む子どもの保護者の方が、引継ぎをしないでほしいと希望されることがある。この場合保護者の意思を尊重し、引継ぎ文書は送らない。

(構成員) 保護者自身も、子どもの障害を含めた受止めに苦悩されている状況なので、小学校にそうした引継ぎが行われることに戸惑いがあることもあるだろう。こうしたケースを除けば、その他の子どもについては、引継ぎがなされているという理解でよいか。

(申請団体) よい。

(構成員) 短時間通園の年間利用数が減少しているのは何故か。

(申請団体) 短時間通園は親子通園なので、就労している保護者は、最近増設が進む児童発達支援所などを利用するようになってきている。そこでは長時間見ていただくこともできる。

(構成員) 保護者の就労の関係ということか。

(申請団体) また、現在認定こども園が機能してきて、そこでの保育士の加配獲得などもありインクリューションとして統合される子どももいると聞いている。

(構成員) しかし、専門性を持って療育していただくことと、普通の幼稚園で見ていただくのでは違いがあると思うが。

(申請団体) 保護者の方の考えはそれぞれあると思う。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自項目ごとの適否を記入その後、構成員全員で意見交換

① 到津ひまわり学園、若松ひまわり学園、引野ひまわり学園

(構成員) 長年指定管理を受託してきた経験に基づき、そこに保護者の思いを取り入れて上手く運営されていると感じた。

(構成員) 先生方の長年の経験と知識等を踏まえた療育を提供しながら、再雇用等で人件費を抑える工夫をしている。また、研修を充実させ、後輩育てに力を入れている点は素晴らしいと思う。今後も子どもたちのために継続して取り組んでいただきたい。

(構 成 員) 短時間通園、幼稚園・保育所との連携に大変熱心に取り組んでいることに感心した。

(構 成 員) 長年の実績があり、法人の中にある総合療育センターによる専門性のバックアップの中で療育が展開されていることも踏まえ、指定管理者として適切であると考えている。

○ 各構成員の審査結果を取りまとめ、検討会を終了